

6/8-14#5ヨブに対する神の意図—良い人が神・

人となること:ヨブ1:1 ウヅの地にヨブという名の人
がいた。この人は完全で正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっていた。8 エホバはサタンに言われた、「おまえは私のしもべヨブを心にとめたか? まことに、地上で彼のような者はいない。彼は完全で正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっている」。2:3 エホバはサタンに言われた、「おまえは私のしもべヨブを心にとめたか? まことに、地上で彼のような者はいない。彼は完全で正しく、神を畏れ、悪から遠ざかっている。おまえは彼に対して私を動かさず、理由もなく彼を滅ぼそうとしたが、なおも彼は自分の高潔さを堅く保っている」。9 すると、彼の妻は彼に言った、「あなたはまだ自分の高潔さを堅く保っているのですか? 神をのろって死になさい」。27:5 あなたがたを義と告げることは、私には絶対にできない! 私は死ぬまで、自分の高潔さを自分から離さない。31:6 (彼に義なる量りで私を量っていただきたい。神に私の高潔さを知っていただきたい)、42:5 私はあなたのことを耳にしていました。しかし今、私の目はあなたを見えています。6 それゆえ、私は自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます」。I. 聖書の六十六巻はただ一つの事のためです。それは、神がキリストの中でその霊としてご自身を私たちの中へと分与して、私たちの命、性質、すべてとなり、私たちがキリストを生き、キリストを表現するということです:ヨブ10:13 しかし、あなたはこれらの事を、あなたの心に秘めておられました。私は、これがあなたと共にあるのを知っています。エペソ3:9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミーが何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり。17 またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。ピリピ1:21 なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。Aこれは私たちの生活を支配する原則であるべきです。B実行上、これは私たちの享受のための、今日の命の木となるべきです。II.ヨブは良い人であり、自分自身の完全さ、正しさ、高潔さを表現しました:A完全であることは、内なる人と関係があり、正しいことは、外なる人と関係があります。Bヨブは高潔な人でした。高潔さは、完全であることと正しいことの総合計です:1ヨブに関して、高潔さは彼が何であったかの総合的な表現です。2性格においてヨブは完全で正しく、倫理において彼は高い水準の高潔

さを持っていました。Cヨブは積極面で神を畏れ、消極面で悪から遠ざかっていました:1神が人を創造したのは、単に人が神を畏れ、何の間違った事も行なわないためだけではありませんでした。むしろ、神が人をご自身のかたちに、ご自身の姿にしたがって創造したのは、人が神を表現するためでした。創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。2神を表現することは、神を畏れ悪から遠ざかることよりも高いのです。3ヨブが彼の完全さ、正しさ、高潔さにおいて到達したものは、完全に空虚でした。それは神の定められた御旨を完成せず、神の願いを満足させませんでした。こうして、神はヨブに愛の関心を持ちました。D神だけが、ヨブに必要なこと、すなわち彼が内側に神を持っていなかったことを知っていました。ですから、神はヨブが神を獲得し、神を表現して、神の定められた御旨を成就することを願いました。1ヨハネ3:2 愛する者たちよ、今や、私たちは神の子供たちです。私たちがどのようになるかは、まだ明らかにされていません。彼が現れるなら、私たちは彼のようになることを知っています。なぜなら、私たちは、彼がそうであるように、彼を見るからです。III. 神の意図は、ヨブが神・人となり、神の属性において神を表現することでした:A神はヨブを別の領域、すなわち神の領域の中へともたらして、ヨブに自分の完全さ、正しさ、高潔さにおいて到達したものを獲得させるのではなく、神を獲得させるようにしました。Bヨブに対する神の意図は、彼を消耗させ、彼の最高水準の倫理において、彼の到達し成就した完全さと正しさをはぎ取ることでした。C神の意図は、完全さと正しさにおける天然のヨブを取り壊し、神の性質と属性において更新されたヨブを神が建て上げることでした。D神の意図は、ヨブを神の人とならせ、神の具体化であるキリストで満たし、神の豊満とならせて、キリストの中で神を表現させることでした。1テモテ6:11しかし、神の人よ、あなたは…義、敬虔、信仰、愛、忍耐、柔和を追い求めなさい。2テモテ3:17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。E神のはぎ取ることと消耗させることはヨブの上で行使されて、ヨブを取り壊しました。それは、神が基礎と道を得て、神ご自身をもって彼を再建し、彼を神・人とならせて、神格においてではなく命と性質において神と同じにし、神を表現させるためでした。IV. 神はキリストの中で、人の中へと構成され、人は神の

中へと構成され、神と人は共にミングリングされて一つの実体となりました。それは神・人と呼ばれています。A 多くの神・人たち、神の多くの子たちは、第一の神・人であるキリストの増し加わり、複製、複写、継続です。ヨハネ12:24 まことに、まことに、私はあなたがたに言う。一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それは一粒のままである。しかし、それが死んだなら、多くの実を結ぶ。ローマ8:29 なぜなら、神はあらかじめ知っておられた者たちを、御子のかたちに同形化しようと、あらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの間で長子となるためです。B 神・人は、神の命と性質にあずかる者であり、こうして神の命と性質において神と一になり、神を表現します。C 神・人は、神から生まれて神の子供となり、神の命と性質を持っています。1 神・人は、人と神の二つの命、人性と神性の二つの性質を持っています。2 神・人は命・人です。3 神・人は金・人です。D 神・人は神で構成され、神を彼の命、命の供給、すべてとして持っています。こういうわけで、神・人は人であるが神であり、神であるが人です。E 神・人は、新創造であり、キリストの中で神の義です。F 神・人は全存在を尽くして、すなわち、心、魂、思い、力を尽くして主を愛します。G 神・人は肉に信頼しないで、自己を否み、霊を活用してキリストを生きます。H 神・人は神の言葉を持つ神の人であり、神の息を吸い込みます。2テモテ3:16 聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。17 それは、神の人があらゆる良いわざのために十分に装備されて、完全な者になるためです。I 神・人は、自分が独立した個人ではなく、団体的な神・人(キリストのからだ、一人の新しい人)の一部であることを認識しています。証 私は良い人を生きているという失敗を告白する証をします。私は日本の文化の影響により、良い人を生きている事が人としてもクリスチャンとしても正しいことだと思っていました。ですから、度々文化、特に日本人の良い人として生きる事がキリストを妨げていると聞いても、初めの頃は自分が良い人として生きる事の何が間違っているのか分かりませんでした。天然の良い人を生きて、主に告白する事はありませんでした。しかし召会生活の中で、文化、天然の良い人を否んでキリストを生きている兄弟姉妹の模範を近くで見ようになり、また新約のガラテヤ書や旧約のヨブ記を学んで、明らかに神が文化的な良い人を望んでいない事が分かりました。

良い人を生きている時、私は自分の天然の良

さを表現しており、キリストを表現していません。また、天然の良さは、見せかけであり、真実ではありません。私の天然の美德は、表面的には良さそうでも、実は実際がなく、虚しいものです。それは一見良さそうなので、ヨブは多くの環境上の対処を経過した31章でも、彼はそれを誇りにしていました。ヨブ記31:6 (彼に義なる量りで私を量っていただきたい。神に私の高潔さを知っていただきたい)、ところが、ヨブが自分が無であると気付いたとき、38:1で「その時、エホバは、つむじ風の中からヨブに答えて言われた」のです。言い換えると、ヨブが善悪知識の路線の中で、自分の天然の良さを誇っている時、神は彼に何も語る事ができませんでしたが、彼が無であり、神が有る方であることに気付いた時、神はヨブに語り始めました。38:1のFN1は言います、「神がヨブに現れた目的は、ヨブに、彼が無であり、神が無限で、計り知れず、たどり着けないことを見せるためでした。神の現れはまた、神がヨブを助けて、彼が間違った領域にいたのを、知らせたかったことを暗示します。この領域は、彼が旧創造における人としての自分自身を、完全、正しさ、高潔さの中で建て上げる領域です。ヨブはこれらの事で自分に栄光を帰しましたが、神はそれらをはぎ取られるべき妨害と考えました。それは、ヨブが神の性質、命、要素、本質を受け入れ、こうして新陳代謝的に造り変えられて、神・人、すなわち新創造の中で神を表現し、神を他の人に分与する人となるためです。

そこで私はこのように祈りました。「おお主イエスよ。私は文化的に良い人を生きている事が正しいと思ってきましたが、聖書の啓示、兄弟姉妹の模範を見る事で、自分が間違っている事を知りました。主よ、私の良い人を生きている失敗を許してください。私を憐れんで、キリストを生きている事を訓練させてください」。このように祈った後、自分が良い人を生きようとしていたことが、どれだけ哀れな状況だったかが初めて暴露され、良い人を生きていることを正しいと思ってきた事を恥ずかしいと感じました。さらに何度も告白するうちに、主との交わりが深くなり、今まで良い人になることばかり注意を払っていた故に欠けていた、人に対する負担も少しずつ増し加わるようになりました。42:5 私はあなたのことを耳にしていました。しかし今、私の目はあなたを見えています。6 それゆえ、私は自分を忌み嫌い、ちりと灰の中で悔い改めます。10 ヨブが友人たちのために祈った時、エホバはヨブの捕囚状態を元に戻し、そしてエホバは、ヨブが以前に持っていたものの二倍を与えられた。